

研修・教育委員会

研修・教育委員会は、会員の周産期メンタルヘルスに関連する最新知識の共有とメンタルヘルスに関する技術の向上ができるように研修会の企画を検討しております。

構成員は、鈴木(精神科医)、蒲池(助産・看護)、北村(精神科医)、工藤(助産・看護)、玉木(精神看護)、常盤(助産・看護)、森實(助産・看護)、そして新井(助産・看護)の9名です。それぞれの領域から参加していますが、助産・看護系の委員が多くなっております。その理由の一つに、会員の中で助産・看護が占める割合が多く、日ごろから周産期メンタルヘルスケアを実践している方に向けた研修が必要であると考えているからです。

2017年3月には、本学会から「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2017(初版)」が発刊され、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会からも周産期メンタルヘルスに関わるガイドラインやマニュアルが発信されております。今後は、これらについて学習する機会を設けていきたいと考えております。

また、会員の皆様からこのような研修を企画してほしいなどご要望がございましたらお寄せください。検討したいと思います。(ご要望は学会事務局まで)

委員長 新井陽子